

福岡県社保協

Fax Mail ニュース

2021.3.15 №.90

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

75歳以上の後期高齢者医療費窓口負担2割化反対！



(写真右側は、口頭陳述をする民医連職員)

小竹町議会 意見書採択

福岡県民医連は、3月8日 福岡県小竹町議会 文教厚生委員会にて『後期高齢者の医療費窓口負担の引き上げ見送りを求める意見書採択の陳情について』の口頭陳述を行いました。小竹町は県中央部に位置し、人口約7,500人の自治体です。人口の46.9%が65歳以上高齢者で、今回の2割化になる対象者は試算で約295名です。

口頭陳述では、2割化の経過や署名の取り組み、医療介護現場の声、福岡医療団が実施したアンケートを紹介しながら後期高齢者の声を伝えてきました。

質疑応答では、①県内で同意見書が採択された自治体の有無。②そもそも医療費窓口負担があることが問題。③一律に2割へ引き上げるとは問題と感じるが、資産のある方は引上げの対象にすべきなどの発言が出され、その後の委員会で採択されました。さらに、3月12日の本会議でも圧倒的賛成(10:1)で採択されました。

福岡県民医連では、他の自治体に対しても、引き続き働きかけを行う予定です。

後期高齢者の医療費窓口負担について引き上げの見送りを求める意見書

2020年12月の国会閉会後、菅首相は臨時閣議で75歳以上の医療費窓口負担について、年収200万円以上の約370万人を1割から2割へ引き上げる方針を決定しました。現在は、高齢者の生活状況は、収入の柱である年金も年々減少し、預貯金があってもそれを切り崩して生活しているのが実態です。「社会保障のため」と消極的に引き上げられましたが、行われているのは国民への負担を増やすためであり、必要に応じて医療費は引き上げられましたが、75歳以上の窓口負担2割化が実施されれば、医療機関の受診を控える高齢者が増加し、必要な時に医療を受けられなくなり、また、今後のコロナ感染拡大で高齢者の健康と生活の不安が高まっているときに、医療費負担を増やすことは高齢者の命と生活に重大な問題を引き起こすことになりかねません。つきましては以下を請願致します。

記

後期高齢者の医療費窓口負担の引き上げを見送ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年3月12日 福岡県教手部小竹町議会

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣
・財務大臣・厚生労働大臣

福岡県民主医連連合会
会長 豊岡 文俊 様

2小冊第399号
令和3年3月12日

陳情の審議結果について

先に本会議で提出されました陳情については、下記のとおり決定したので通知します。

記

1 件名 後期高齢者の医療費窓口負担の引き上げの見送りを求める意見書採択の陳情について

2 審議結果 採択

別添意見書を令和3年3月12日付で、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に提出済み

小竹町議会議長 和田 隆

医議小
院と香竹
町議定